

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 6 巻第 12 号

第 12 週 (3月 20 日 ~ 3月 26 日)

発行年月日:平成18年(2006年) 3月 31 日

発行 行:滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

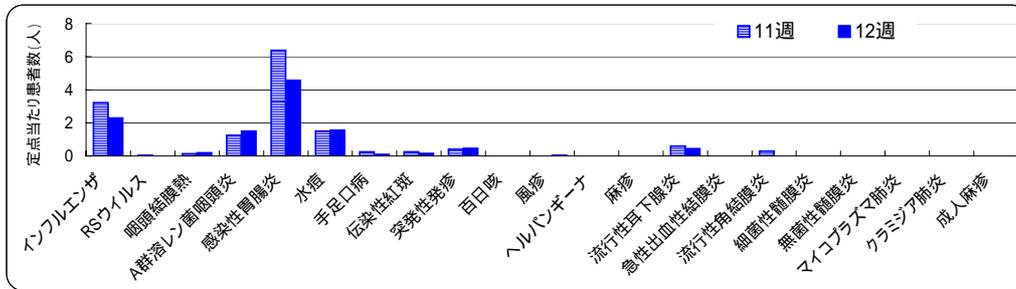
今週の感染症発生動向

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の発生は先週に引き続き今津保健所管内で増加

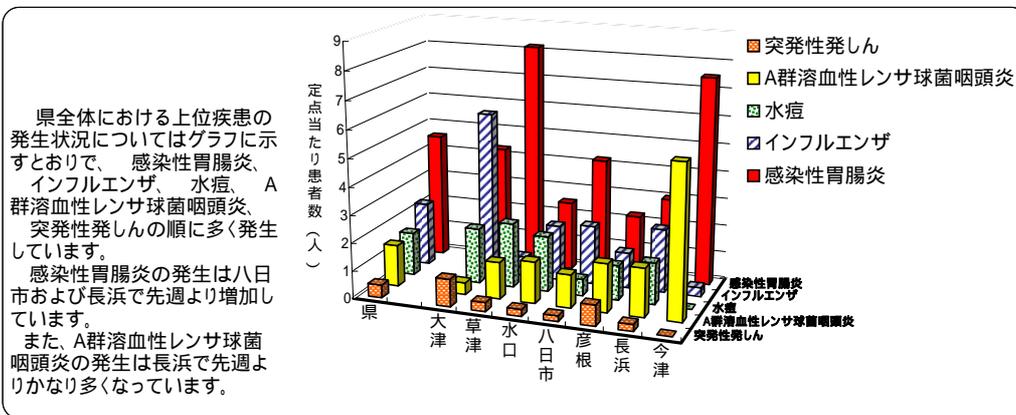
定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週(3月13日~3月19日)の報告数より少なくなっています。今週、増加した疾患は水痘、突発性発しん等です。減少した疾患はインフルエンザ、感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

今週は、全数報告感染症の届出はありませんでした。

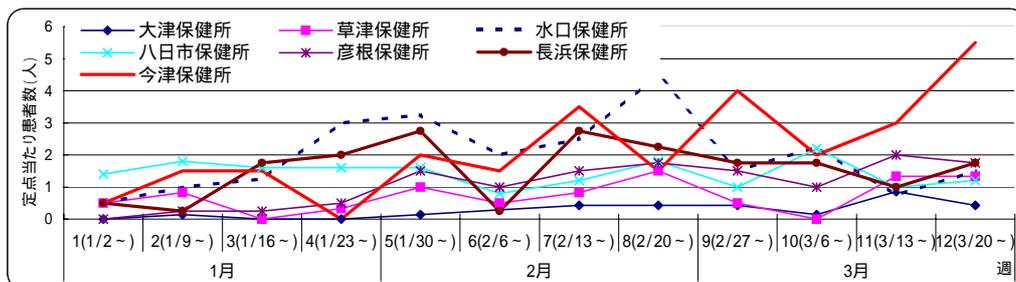
定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)



上位5疾患の保健所管内別発生状況(定点把握対象五類感染症、第12週、定点当たり患者数)



A群溶レン菌咽頭炎の保健所管内別発生状況(平成18年第1~12週、1/2~3/26)



第1~12週の発生状況についてみると、水口、長浜および今津保健所管内においてやや多く発生していますが、第11週および12週における今津保健所管内の定点当たり患者数は3.00、5.50と非常に多くなっています。また、滋賀県全体の発生状況は、昨年の同時期よりかなり多く発生しています。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (12週)	累積報告数		平成17年報告数	
			滋賀 (12週)	全国 (12週)	滋賀	全国 ^(*)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	細菌性赤痢	0	^{(*)2} 2	113	^{(*)3} 7	556
	腸チフス	0	0	14	0	50
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	102	12	3,567
四類感染症	E型肝炎	0	0	^{(*)4} 15	0	40
	A型肝炎	0	0	^{(*)4} 71	1	168
	オウム病	0	0	6	1	34
	デング熱	0	0	9	1	73
	マラリア	0	0	6	0	66
	レジオネラ症	0	2	82	3	276
五類感染症	アメーバ赤痢	0	3	135	5	680
	ウイルス性肝炎	0	0	51	2	277
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	38	2	147
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	3	29	0	60
	後天性免疫不全症候群	0	2	250	7	1,161
	ジアルジア症	0	0	14	0	81
	梅毒	0	2	118	0	555
	破傷風	0	0	9	0	114
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	13	2	65
	急性脳炎	0	1	^{(*)4} 53	2	180

- * 1: 平成17年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。
- * 2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。
- * 3: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分3件を含みます。
- * 4: 平成18年第10週現在の報告数です(iDWR掲載の報告数を参考にしています)。

全国における全数報告感染症の発生状況 - iDWR2006年第10週、3/6～3/12より -

一類感染症: 報告なし	10例	四類感染症: A型肝炎	11例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群	12例
二類感染症: 細菌性赤痢	2例	E型肝炎	4例	ウイルス性肝炎	5例
コレラ	2例	つつが虫病	1例	ジアルジア症	2例
三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症	6例	レジオネラ症	5例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例
四類感染症: デング熱	1例	オウム病	1例	急性脳炎	7例
マラリア	1例	五類感染症: アメーバ赤痢	13例	髄膜炎菌性髄膜炎	1例
		梅毒	4例		

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(第7週～12週、2/13～3/26)

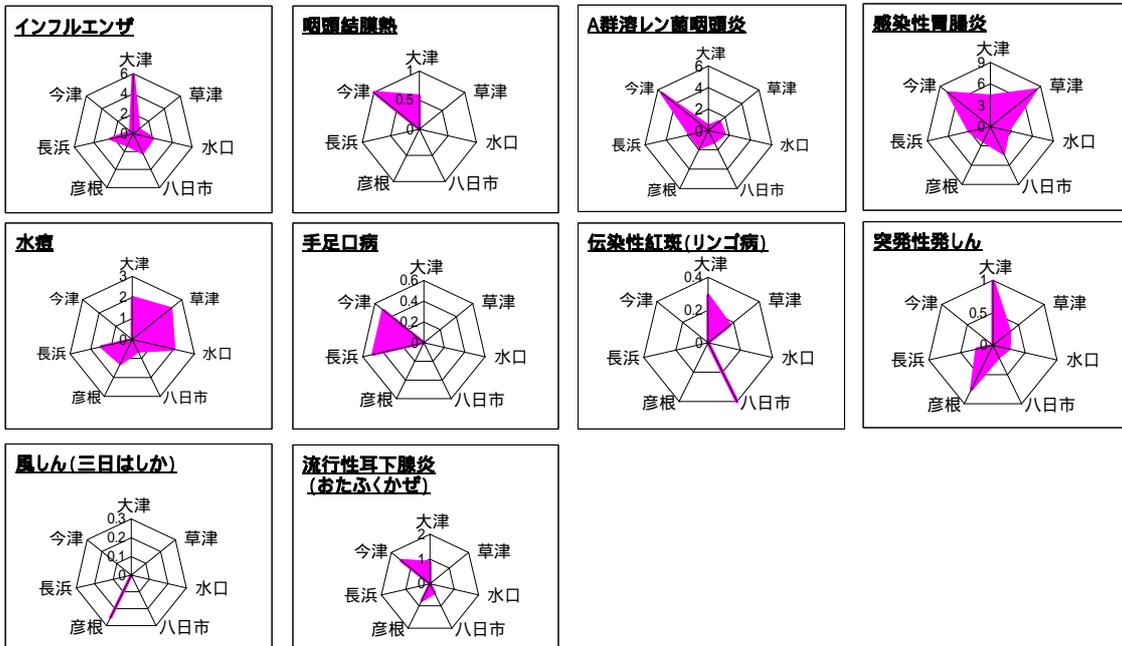
疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)																	
	7週			8週			9週			10週			11週			12週		
	(2/13～)	(2/20～)	(2/27～)	(3/6～)	(3/13～)	(3/20～)	8	9	10	11	12							
インフルエンザ	16.80	9.10	6.39	4.35	3.22	2.29												
RSウイルス感染症	0	0.03	0	0.03	0.03	0												
咽頭結膜熱	0.03	0.03	0.22	0.25	0.13	0.19												
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.50	1.81	1.19	1.13	1.25	1.50												
感染性胃腸炎	5.19	5.16	6.03	5.53	6.38	4.56												
水痘	1.31	1.28	1.28	1.34	1.50	1.56												
手足口病	0.06	0.13	0.06	0.16	0.25	0.09												
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.06	0.09	0.19	0.25	0.16												
突発性発しん	0.28	0.38	0.53	0.91	0.41	0.47												
百日咳	0	0	0	0	0	0												
風しん(三日はしか)	0.03	0	0	0	0	0.03												
ヘルパンギーナ	0	0	0.06	0	0	0												
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0.06	0	0	0	0												
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.53	0.75	0.78	0.47	0.59	0.44												
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0												
流行性角結膜炎	0.14	0	0.57	0	0.29	0												
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0												
無菌性髄膜炎	0	0	0	0.14	0	0												
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0												
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0												
成人麻しん	0	0	0	0	0	0												

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第12週、3/20～3/27)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	2.29	5.89	0.70	2.00	2.13	1.29	2.29	0.33	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.19	0.57	0	0	0	0	0	1.00	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.50	0.43	1.33	1.50	1.20	1.75	1.75	5.50	
感染性胃腸炎	4.56	4.29	8.17	2.50	4.20	2.25	3.00	7.50	
水痘	1.56	2.00	2.33	2.00	0.60	1.25	1.50	0	
手足口病	0.09	0	0	0	0	0	0.50	0.50	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.16	0.29	0.17	0	0.40	0	0	0	
突発性発しん	0.47	1.00	0.33	0.25	0.20	0.75	0.25	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0.03	0	0	0	0	0.25	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.44	0.86	0	0	0.40	0.75	0	1.50	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

0 1 2 3 4 5
定点当たり患者数(人)

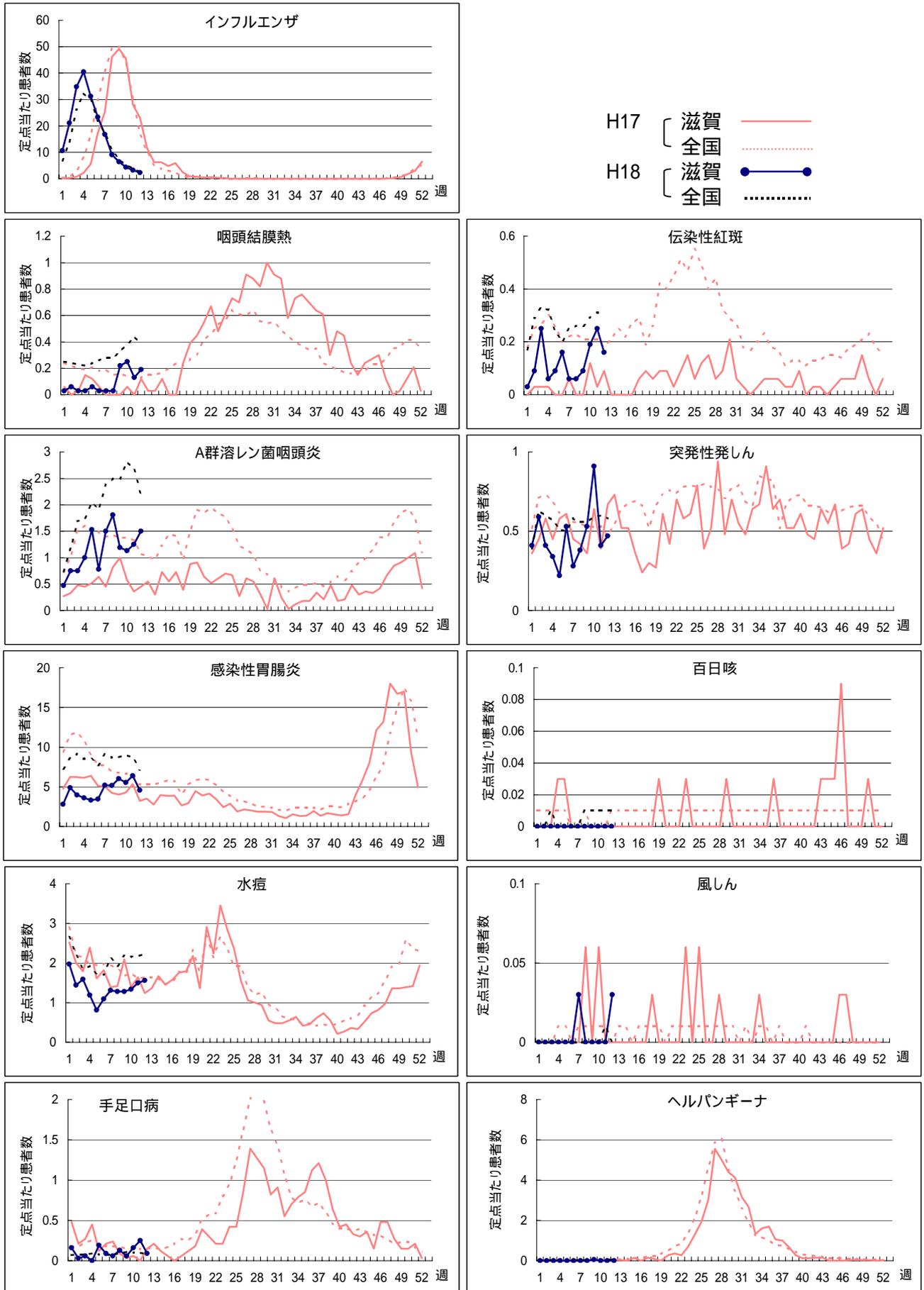
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。

- インフルエンザ----- 大部分の保健所で先週より少なくなっていますが、大津および水口ではやや増加しています。
- 咽頭結膜熱----- 大津では先週と同じですが、今週は今津保健所からも報告されています。
- A群溶レン菌咽頭炎----- 今津で定点当たり患者数 5.50と非常に多くなっています。
- 感染性胃腸炎----- 今津で先週よりかなり減少していますが、草津と同様に多い状態が続いています。また、八日市では先週よりかなり多くなっています。
- 水痘----- 大津、草津および水口でやや多くなっています。
- 手足口病----- 長浜では先週より減少し、今津からも報告されています。
- 突発性発しん----- 大津および彦根で先週より増加しています。
- 伝染性紅斑----- 大津および八日市では先週と同じですが、草津および長浜では先週より少なくなっています。
- 流行性耳下腺炎----- 大部分の保健所で先週より減少または変化なしとなっていますが、今津ではやや増加しています。
- 風しん----- 彦根保健所から報告されています。また、第7週(2/13～2/19)にも彦根から報告されています。

疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第12週、H18.1.2～H18.3.26)



疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第12週、H18.1.2～H18.3.26)

H17 { 滋賀 ————
全国 - - - - -

H18 { 滋賀 ●——●
全国 - - - - -

